

第四十四回テアトル・ノウ東京公演

道成寺 味方玄

無躰之崩

舞囃子 絵馬 観世鍔之丞

観世喜正
観世淳夫

狂言 鐘の音 野村 萬斎

一調 女郎花 片山九郎右衛門

亀井 忠雄

令和四年
七月二日(土)
午後二時始
於国立能楽堂



令和四年七月二日(土)午後二時(午後一時開場)
於 国立能楽堂

第四十四回 テアトル・ノウ東京公演

絵馬

舞囃子
舞女 観世喜正
観世鏡之丞
力神 観世 淳夫

大鼓 亀井 広忠 太鼓 前川 光範
小鼓 成田 奏 笛 杉信 太郎

地謡
武田 崇史 川口 晃平
鶴澤 光 山崎 正道
角当 直隆

鐘の音

狂言
太郎冠者 野村 萬斎

主 石田 幸雄

後見 石田 淡朗

女郎花

一調
片山 九郎右衛門

龜井 忠雄

休憩

道成寺

白拍子
蛇体 味方 玄

能

道成寺の僧 宝生 欣哉
無間之崩 從僧 御厨 誠吾
從僧 宝生 尚哉

大鼓 亀井 広忠 太鼓 前川 光範
小鼓 成田 達志 笛 杉信 太郎

間
能力 野村 萬斎
能力 高野 和憲

後見
観世 淳夫
観世鏡之丞
清水 寛二

小早川 康充 浅見 慈一
小早川 泰輝 観世 喜正
安藤 貴康 片山 九郎右衛門
谷本 健吾 山崎 正道

味方 團
分林 道治 川口 晃平
角当 直隆 武田 祥照

狂言 鐘後見
野村 太一郎 中村 修一
内藤 連 飯田 豪

終了予定 午後五時半頃

ご挨拶

いつもテアトル・ノウをご支援ご高覧賜りまことにありがとうございます。

一昨年、第四十回の折に企画いたしました『道成寺』ですが、新型コロナウイルスの感染拡大により、その令和二年は日程、曲目を変更して開催いたしました。

今回、その公演の時に、『道成寺』は改めて上演いたします」と書かせていただいた通り、満を持して『道成寺』を上演いたします。

『道成寺』は平成九年に初演いたし、何度か勤めさせていただきました。女性の情念をこれほどまで一途に切なく、深く、もろく、また尽きることにない執心を美しく描いた作品はありません。

小書き「無間之崩」は、乱拍子を崩して急之舞に入るところ、すなわち乱拍子の最後「名付けたらや」と通常は足拍子を踏むところを、踏まずに鐘に向き直り氣をかけて迫り、そのままぐるりと回り込んで急之舞に入るやり方です。

乱拍子を鱗形(三角形)に踏み、中盤過ぎの中之段にて扇を左手に持ち替えた後、鱗返しをいたします。中之段までとは逆方向に小さな鱗形を描いて乱拍子を踏むのです。鐘への執心がより強く粘つくことを表され、後に蛇体となることを彷彿とさせる演出です。

「思えばこの鐘 恨めしや」巨大な鐘の作り物が能舞台に吊られ、そのなかに飛び込むアクロバティックな演出はこの曲目の見せ場のひとつです。その瞬発的なインパクトだけにとどまらず、原曲『鐘巻』から煮詰められた「女性の情念」が浮き彫りになればと思います。

なにとぞご高覧、ご教受賜りたくお願い申し上げます。

テアトル・ノウ主宰 味方 玄



@Akashi Photos

みかた しずか
味方 玄 観世流能役者

一九六六年京都にて能楽師・味方健の長男として生まれる。幼少より父に手ほどきを受け、一九八六年、片山幽雪(人間国宝)に内弟子入門。幽雪(九世九郎右衛門)、十世九郎右衛門に師事。一九九九年独立。二〇〇一年「京都市芸術新人賞」受賞。二〇〇二年KBS京都テレビにて能楽入門番組「能三昧」(全二十八回)を監修、出演する。二〇〇三年新作能「待月」の脚本を手がけシテを演じる。二〇〇四年「京都府文化賞奨励賞」受賞。二〇〇六年淡交社より「能へのいざない」を出版。二〇二二年、重要無形文化財(総合認定)。

入場料 全席指定

正面・・・12,000円 脇正面・中正面・・・10,000円

4月27日(水)よりチケット発売 「みかたくらぶ」先行発売あり

チケットのお申し込み・お問合せ

テアトル・ノウ事務局 TEL&FAX 075-213-1774

ホームページからもお申込みいただけます <https://theatrenoh.com/>

※未就学児のご入場はお断り申し上げます。記載内容は変更になる場合がございます。

チラシ使用写真 『道成寺』味方玄 撮影/工房円

